

生物多様性条約第 15 回締約国会議 ハイレベルセグメント

シャーム・サックル ITTO 事務局長 声明文

(仮訳)

議長、各国大臣および代表団の皆様、ご列席の皆様

この場をお借りして、この美しいモンリオールの街で、生物多様性条約第 15 回締約国会議 (COP15) を開催された中国、カナダ両政府への祝意を表したいと思います。ITTO は、COP15 の会議の進行に尽力された生物多様性条約 (CBD) 事務局長とそのチーム、そしてこの 2 週間の交渉に尽力されたすべての代表者の方々に感謝申し上げます。

ITTO は、熱帯林に関する 2 つの使命を持つ、唯一の政府間機関です。2 つの使命とは、持続可能な森林経営 (SFM) の実施と、合法的かつ持続的に伐採された熱帯林からの木材および林産物に関する貿易の多様化です。ITTO の加盟国は、世界の熱帯林資源の 80% を保有し、熱帯木材製品貿易の 90% を占めています。熱帯地域は、極度の貧困状態にある世界人口の 70% 以上が居住する地域であるとともに、世界の多様性の 70% 近くを宿す地域でもあります。

熱帯林、生物多様性、気候変動の緩和と適応の間のネクサスは不可分であり、総合的な取り組みが必要です。ITTO の活動は、2006 年熱帯木材協定 (TTA 2006) に準じ、国連貿易開発会議 (UNCTAD) の後援のもとで実施されています。ITTO は、世界森林目標 (GFGs)、持続可能な開発目標 (SDGs)、国連森林戦略計画 (UNSPF)、国連生態系回復の 10 年、生物多様性条約 (CBD)、国連気候変動枠組条約 (UNFCCC)、ワシントン条約 (CITES: 絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約)、国際自然保護連合 (IUCN) などに対するグローバルコミットメントの内容を実施するため、加盟国を支援しています。

しかし熱帯林は、陸上と沿岸のどちらにおいても、土地利用の変化や森林減少、および森林劣化の影響を受けやすく、脆弱性が増しています。食料、木材、エネルギーの安全保障に影響を与える世界的な課題がこのような (土地利用の変化などの) 動きを加速させます。

国際社会は持続可能な方法で経営された熱帯林との関わり方を変えなければなりません。そうすれば、将来の世代のために、とりわけ生物多様性の保護を確実にすることができます。

ITTO は代表の皆様方に対し、熱帯林が 2030 年に達成すべき持続可能な開発目標 (SDGs) のほぼすべてに効果的に貢献し続けることができるよう、ポスト 2020 生物多様性枠組と資源動員について合意に達するよう強く要請します。

ITTO は代表の皆様方に対し、拡張性、再現性、移転性のあるプロジェクトを現場で成功裏に実施した経験が豊富な ITTO などの政府間組織とのさらなる協力と戦略的投資を前向きに受け入れるよう促します。

ITTO は、今大いに必要とされている、持続的に経営された熱帯林に由来するネイチャーベースド・ソリューション(自然を基盤とした解決策)を提供することができ、それらは採択後の生物多様性枠組みの実施に不可欠となります。そのためには、地球環境ファシリティ(GEF)、緑の気候基金(GCF)、世界銀行、その他の世界的な資金源に基づく国際的な資金援助に、公平かつ公正にアクセスできる必要があります。

ITTO は熱帯林への投資を促します。熱帯林への投資により、生物多様性、水資源、炭素吸収減／炭素隔離減／環境に有害な物質の代替物の持続可能な利用が長続きし、森林の価値を高めながら私たちが呼吸する酸素を生産し、地域社会や先住民族の生活を豊かにし、誰一人取り残さないようにすることができます。ITTO はネイチャーポジティブな世界に全力でコミットします。